



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場会社名 中部飼料株式会社
 コード番号 2053 URL <http://www.chubushiryo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 平野 宏
 問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部長 (氏名) 井藤 直樹
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

TEL 052-562-2010

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	38,734	5.4	369	△44.8	353	△55.0	236	△52.2
26年3月期第1四半期	36,735	15.2	668	59.5	784	43.2	495	45.3

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 269百万円 (△59.8%) 26年3月期第1四半期 671百万円 (384.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	9.00	—
26年3月期第1四半期	18.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	66,060	36,498	55.2
26年3月期	65,382	36,474	55.8

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 36,483百万円 26年3月期 36,460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	81,000	9.0	1,200	53.7	1,200	27.7	750	22.6	28.51
通期	164,000	7.3	2,700	10.8	2,750	△2.8	1,750	△10.0	66.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	26,535,508 株	26年3月期	26,535,508 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	205,499 株	26年3月期	233,183 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	26,312,251 株	26年3月期1Q	26,218,317 株

※期末自己株式数については、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式(27年3月期1Q152,900株、26年3月期180,700株)を含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動から弱い動きがみられるものの、企業収益や雇用情勢の改善など緩やかな回復基調が続いております。

飼料業界におきましては、主原料のとうもろこし価格が、米国産の堅調な輸出需要やウクライナの情勢悪化による同国の供給減少懸念などから上昇しております。また、大豆粕につきましても世界的に旺盛な需要により高値水準で推移しております。こうした原料状況を反映して、飼料メーカー各社は配合飼料価格を値上げしましたが、原材料価格の上昇分全てを転嫁できなかったことにより、厳しい事業環境となりました。

このような状況のなか、当社は原料高騰に対応するために、原料の有効的利用によるコストダウン等を実施し、原価の低減に注力しました。また、新たな市場開拓はもとより顧客の要望に合致した新製品の開発、積極的な販売活動の推進による売上拡大を図る一方、生産性向上、経費の削減などにより業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高387億34百万円（前年同四半期比5.4%増）、営業利益3億69百万円（前年同四半期比44.8%減）、経常利益3億53百万円（前年同四半期比55.0%減）、四半期純利益2億36百万円（前年同四半期比52.2%減）となりました。

売上高は、主力の畜産飼料の販売量が前年同四半期を上回ったことなどにより、5.4%の増収となりました。営業利益は、飼料販売量が増加したものの、売上総利益率の低下や販売費及び一般管理費の増加などにより、44.8%の減益となりました。四半期純利益は、営業外費用に貸倒引当金繰入額を計上したことなどにより、52.2%の減益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(飼料)

売上高は、平均販売価格が前年同四半期を若干下回ったものの、販売量が上回ったため、前年同四半期比5.1%増の325億27百万円となりました。セグメント利益は、畜産飼料の販売量が増加したものの、原料ポジションの悪化による売上総利益率の低下や貸倒引当金繰入額の増加などにより、前年同四半期比47.4%減の2億85百万円となりました。

(コンシューマー・プロダクツ)

ペットフードの販売量は減少したものの、畜産物の取扱量が増加したことにより、売上高は、前年同四半期比18.0%増の46億93百万円となりました。セグメント利益は、前年同四半期比58.3%減の21百万円となりました。増収減益となった主な理由は、運賃などの費用が増加したためであります。

(その他)

売上高は、前年同四半期比16.6%減の15億13百万円、セグメント利益は、前年同四半期比90.7%減の12百万円となりました。減収減益となった主な理由は、畜産用機器の販売台数が減少したためであります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6億78百万円増加の660億60百万円となりました。流動資産は407億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億20百万円増加しました。これは主にその他の流動資産が8億3百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が4億18百万円、原材料及び貯蔵品が10億56百万円増加したことによるものであります。固定資産は253億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円減少しました。これは主に投資有価証券が4億8百万円増加したものの、機械装置及び運搬具が2億59百万円、無形固定資産が1億46百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ6億53百万円増加の295億62百万円となりました。流動負債は239億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億61百万円増加しました。これは主に未払法人税等が5億47百万円減少したものの、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が18億20百万円増加したことによるものであります。固定負債は55億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億7百万円減少しました。これは主に長期借入金が6億41百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ24百万円増加の364億98百万円となりました。これは主に繰延ヘッジ損益が2億28百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が2億63百万円増加したことによるものであります。純資産の増加を総資産の増加が上回った結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.6ポイント減少の55.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月8日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の算定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

なお、この変更に伴う期首の利益剰余金及び損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,197	1,200
受取手形及び売掛金	28,523	28,941
商品及び製品	1,985	2,074
仕掛品	620	605
原材料及び貯蔵品	5,651	6,708
その他	2,347	1,543
貸倒引当金	△303	△330
流動資産合計	40,022	40,742
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,549	6,451
機械装置及び運搬具（純額）	5,431	5,171
工具、器具及び備品（純額）	575	576
土地	7,180	7,180
リース資産（純額）	23	22
建設仮勘定	—	148
有形固定資産合計	19,759	19,550
無形固定資産	1,061	915
投資その他の資産		
投資有価証券	3,470	3,879
長期貸付金	968	949
退職給付に係る資産	214	214
その他	653	655
貸倒引当金	△766	△847
投資その他の資産合計	4,539	4,852
固定資産合計	25,360	25,317
資産合計	65,382	66,060

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,030	10,928
短期借入金	6,600	7,800
1年内返済予定の長期借入金	2,020	2,640
未払法人税等	660	113
賞与引当金	354	238
役員賞与引当金	39	—
その他	2,129	2,276
流動負債合計	22,835	23,996
固定負債		
長期借入金	4,250	3,608
債務保証損失引当金	48	46
退職給付に係る負債	423	451
資産除去債務	83	83
その他	1,267	1,375
固定負債合計	6,073	5,565
負債合計	28,908	29,562
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,695	2,695
資本剰余金	2,353	2,353
利益剰余金	30,003	29,977
自己株式	△145	△128
株主資本合計	34,906	34,897
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,188	1,452
繰延ヘッジ損益	380	152
為替換算調整勘定	△6	△10
退職給付に係る調整累計額	△8	△8
その他の包括利益累計額合計	1,553	1,585
少数株主持分	14	15
純資産合計	36,474	36,498
負債純資産合計	65,382	66,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	36,735	38,734
売上原価	33,148	35,281
売上総利益	3,586	3,452
販売費及び一般管理費	2,918	3,083
営業利益	668	369
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	59	66
貸倒引当金戻入額	18	—
債務保証損失引当金戻入額	1	1
保管料収入	27	45
負ののれん償却額	10	—
その他	56	26
営業外収益合計	177	142
営業外費用		
支払利息	21	19
持分法による投資損失	14	8
貸倒引当金繰入額	—	81
保管料原価	23	42
その他	1	6
営業外費用合計	61	158
経常利益	784	353
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	7	8
投資有価証券評価損	14	0
ゴルフ会員権評価損	0	0
特別損失合計	22	8
税金等調整前四半期純利益	762	344
法人税、住民税及び事業税	172	117
法人税等調整額	90	△10
法人税等合計	262	106
少数株主損益調整前四半期純利益	499	238
少数株主利益	4	1
四半期純利益	495	236

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	499	238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	263
繰延ヘッジ損益	158	△228
為替換算調整勘定	2	△1
退職給付に係る調整額	—	0
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△3
その他の包括利益合計	172	31
四半期包括利益	671	269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	666	268
少数株主に係る四半期包括利益	5	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	30,941	3,978	34,919	1,815	36,735	—	36,735
セグメント間の 内部売上高又は振替高	181	0	181	13	195	△195	—
計	31,123	3,978	35,101	1,829	36,931	△195	36,735
セグメント利益	542	51	593	140	734	27	762

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△249百万円、金融収支283百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	32,527	4,693	37,220	1,513	38,734	—	38,734
セグメント間の 内部売上高又は振替高	195	0	195	6	202	△202	—
計	32,723	4,693	37,416	1,520	38,937	△202	38,734
セグメント利益	285	21	307	12	320	24	344

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△252百万円、金融収支297百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。